

「全国は一つ」で 650 万票、比例 5 議席実現を 参院選勝利・近畿FAXニュース

2013.2.22 No.3
近畿ブロック事務所 06.6764.9111

2月20日、大阪市・中之島公会堂で開かれた大阪「党と後援会の決起集会」での市田忠義書記局長の講演のうち山下よしきさんの紹介部分と山下よしき書記局長代行・参議院議員(比例代表候補)の決意表明を紹介します。

論戦力抜群、質問回数トップ、信頼厚い、試されずみの政治家

市田忠義書記局長の山下よしきさんの紹介

2月の9日と10日に第6回中央委員会総会を開きました。昨年の総選挙の結果を踏まえて、現在の情勢をどうつかむか、参議院選挙で比例の5議席を絶対確保して、選挙区でも勝利を勝ちとる、反転攻勢をすすめるためにどういったたかいをする必要があるのか、この点について2日間、みんなで知恵を出し合い、方針を決めました。

同時に今度の中央委員会総会では新しい人事を決めました。中央委員会の機能を強化して指導体制を厚くするとともに、将来を見据えて、若い幹部を思いきって抜擢する。参議院選挙も若手の2枚看板を正面に押し立ててたたかおうということで、山下よしきさんが書記局長代行、小池晃さんが副委員長になりました。

山下さんは、初当選が1995年35歳のときでした。私の初当選は1998年ですから、私よりも3年先輩です。しかも38歳の若さで、党国会議員団で参議院の国会対策委員長の任にもついた。論戦力も抜群。他党派も含めて全ての参議院議員の中で質問回数は1番多い。党内外の信頼も大変厚い、試されずみの政治家です。

先日、NHKの「日曜討論」にさっそく出演されました。こういう電話がかかってきました。「若々しくて大変よい。イケメンではつつとして。とても滑舌もよい。内容も抜群」。

大阪の党と後援会のみなさんに支えられて、育てて頂いた山下よしきさんと、同じく大阪生まれの私市田と、一緒にスクラムを組んで頑張りますので、これからもよろしく願いいたします。



「日本共産党」と広げに広げ、山下よしきを含む 比例代表・5人全員を必ず勝たせてください

山下よしき書記局長代行・参院議員(比例候補)の決意表明

大阪のみなさんこんばんは。参議院議員の山下よしきです。7月にたたかわれる参議院選挙で、比例代表候補としてお世話になります。大阪選挙区のたつみコータロー候補ともども、よろしく願いいたします。



加えて、先日行われた日本共産党第6回中央委員会総会で、私は書記局長代行として承認をいただきました。驚いた方も多いでしょう。私が一番驚きました。しかし、腹をくくってやるしかありません。これまで大阪のみなさんに育てていただき、鍛えていただいた私の持てる力をすべて発揮して、歴史ある党の新たな前進へ、市田書記局長と力を合わせてベストを尽くします。よろしくお願いいたします。

■危機もたらした反省のない安倍首相

先月、安倍総理が国会で所信表明演説を行いました。安倍さんは「我が国は危機的な状況にある」「どれだけ真面目に働いても暮らしが良くならない」と演説しました。私は、思わず「誰がそうしたんだ！」と叫んでしまいました。だってそうでしょう。労働法制を次つぎ改悪して、派遣社員や期間社員など「真面目に働いても暮らしが良くならない」労働者をこんなに増やしたのは、安倍さんたち自民党じゃありませんか！その自覚も反省もないままこんなことを言う政権に、国民の暮らしも、日本の経済も任せる訳にはいきませんね。

■労働者の怒り悔しさ胸に論戦

さて、みなさんのお力で国会に戻していただいてももうすぐ6年になります。“困った人をほっとかない、あったかい人間の連帯を国の政治に”——これをモットーに頑張っただけです。特に力をいれてきたのが雇用問題です。就職できない、正社員になれない、だから結婚も出来ない、そんな若者が広がっています。パナソニック、シャープなど電機産業の大企業が13万人もの労働者・技術者をリストラ・首切りしようとしています。

私は、こうした若者や労働者の怒りと悔しさ、そして誇りを胸に刻んで、国会で何度も総理や大臣と論戦してきました。

3年前、大阪に本社のある空調機メーカーダイキン工業堺製作所で、200人の期間社員が雇い止めにされました。しかし、ダイキンではエアコンの生産が連続して拡大していました。だからダイキンは200人を雇い止めにする一方で、新たに200人あまりの期間社員を雇い入れたんです。だったらはじめから、200人を雇い止めしなければいいではありませんか。

私は、「仕事はずっとあるのに、労働者の雇用は細切れ、2年半で入れ替える。こんなことはおかしいと思わないか。労働者の人生は2年半で終わりじゃない。30年、40年あるんだ。人生の設計が立たないじゃないか」。こう国会で詰め寄りましたら、当時は菅総理でしたけれど、「大変不合理だし、労働者にとって大変負担が大きい」と答えました。ならばこういう働かせ方は、すぐにやめさせるべきではないでしょうか。

しかし残念ながらそうなっていません。それどころか、昨年末、「5年」という期間で「あらたな雇い止め」をまねくことになる法案を、自民、民主、公明、みんな、維新が賛成して通してしまいました。

雇い止めされたダイキンの労働者はいまでも裁判でたたかっておられます。たたかう労働者を応援するとともに、参院選で日本共産党をドーンと伸ばして、労働者をモノのように、細切れで使い捨てにすることを許すような政治に“待った”をかけようではありませんか。頑張ろうじゃありませんか。

もう一つ。2年前、ソニー仙台工場で働く期間社員の若者たちが、津波で壊れた工場の復旧作業にあたった後、全員雇い止めにされようとしていた問題も国会でとりあげました。そのとき私はソニーの若者たちに聞いたんです。「自分たちも被災しているのに、どうして工場にかけつけたんですか？」

若者の一人が答えました。「5年前、生産ラインを立ち上げたときからこの工場に働いています。後から入ってきた正社員には、僕たちが仕事を教えました。世界的メーカーの品質を担っているのは自

分たちだという自負がありました」。

ぐっときました。彼らは雇用の形こそ非正規ですが、仕事の中身と志はプロフェッショナルです。「そんな彼らを震災のまっただ中で切り捨てて、復興なんて出来るはずがない！」と迫ると、菅総理は「調査する」と答えざるをえませんでした。

その後若者たちは労働組合に入って団結してたたかい、ソニーの責任で正規雇用を確保するという勝利和解を勝ちとったことを報告します。本当にうれしかったです。

■勝利が約束されているから、たたかうのではない

私は思うんです。人間は経験があるからたたかうではありません。勝利が約束されているからたたかうでもありません。理不尽な攻撃を人間として許すことができないから立ち上がるのではないのでしょうか。国会の中だけを見ると、逆流が強いようにみえます。しかし国民の中では、様々な分野でたたかいが噴き出している。ここに確信を持ってお互いに頑張ろうではありませんか。

そして私は思うんです。若者を使いすてる企業と社会に未来はありません。労働者・技術者を使い捨てにする、企業にも産業にも未来はありません。

労働者の賃金を引き上げ、安定した雇用をつくってこそ、深刻なデフレ不況から抜け出せます。政治の責任で、大企業の身勝手なリストラに待ったをかけ、誰もが人間らしく働けるルールをつくるのが、どうしても必要です。そのために、日本共産党を伸ばしてください。私、山下よしきを引き続き国会で働かせてください。

■誰一人落とせない素晴らしい候補者

比例代表は「5議席絶対確保」が目標です。すでに5人の候補が発表され、奮闘を開始しています。北から紙智子さん、小池晃さん、井上さとしさん、私、山下よしき、仁比そうへいさん。自分で言うのも何ですが、誰一人として落とすことはできない、素晴らしい政治家ではないでしょうか。

比例代表で「日本共産党」と書いていただく方を、お知り合いの方に、全国どこにお住まいの方でも結構ですので、広げに広げてください。そして私、山下よしきを含む5人の比例候補全員を勝たせてください。

大阪選挙区は定数がひとつ増えました。私を大阪選挙区から押し上げていただいたときと同じように、30代でたつみコータローさんを押し上げてください。心からお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

比例・山下候補リーフができました 演説会・集い・訪問などで活用を



参院比例候補・山下よしきさん(党書記局長代行)のリーフができました。山下さんは全参院議員で質問回数トップなど実績抜群。リストラ、憲法・民主主義、「いじめ」・体罰問題での奮闘ぶり、阪神・淡路大震災が原点であることを各界のコメントと合わせて紹介しています。近畿での活躍ぶりは地図で一目でわかります。

比例 5 候補、近畿の選挙区候補も紹介しており、参院選勝利の大きな力になります。A4 サイズ 2 ページ、ずらし折り。色合いはグリーンで鮮やかです。全国後援会連絡会ニュースと合わせ演説会・集い・訪問・懇談の際などに活用して下さい。地区委員会に届いています。